

近世日本の儒教思想

— 山崎闇斎学派を中心として

【第二分冊 資料編】

* 目次

第二部 山崎闇齋学派についての資料（解題・注釈・校合）

五	稲葉黙齋『姫島講義』	大久保紀子	解題・注釈・校合	3
六	稲葉黙齋『姫寫口義』	大久保紀子	解題・注釈・校合	45

※『稲葉黙齋先生姫島講義眞蹟書』（千葉県山武市成東・

熱田秀夫氏蔵）

七	稲葉黙齋『處士越復傳』	大久保紀子	解題・注釈・校合	71
八	稲葉黙齋『先君子行實』	大久保紀子・長野美香	解題・注釈・校合	113

九	稲葉黙齋『先達遺事』	大久保紀子・長野美香	解題・注釈・校合	231
---	------------	------------	----------	-----

十	稲葉黙齋『墨水一滴』	大久保紀子	解題・注釈・校合	373
---	------------	-------	----------	-----

十一	林潜齋『稲葉黙齋先生傳』	長野美香	解題・注釈・校合	521
----	--------------	------	----------	-----

※岡直養『林潜齋事略』

十二	人名索引	大久保紀子・長野美香		615
----	------	------------	--	-----

第三部 上総道学についての関連論文と資料

十三	『孤松全稿』について―『黙齋艸』との関係	大久保紀子		637
----	----------------------	-------	--	-----

十四	『稲葉家譜』について	長野美香		655
----	------------	------	--	-----

十五	『迂齋文集』について	長野美香		661
----	------------	------	--	-----

十六	稲葉迂齋・黙齋年譜	長野美香		707
----	-----------	------	--	-----

あとがき

【第一分冊 研究編】

はじめに

第一部 日本儒教についての研究

一 「思想史」とは何か——「日本倫理思想史」に関する方法的反省

高島元洋

- (一) 「日本倫理思想史」とは何か——相良亨「日本倫理思想史研究の意義」
- (二) ささまざまな「日本思想史」——丸山真男「日本政治思想史一九六五」、黒田俊雄「思想史の方法——研究史からなにを学ぶか」

(三) 「日本倫理思想史」の定義——和辻哲郎『日本倫理思想史』

(四) 和辻倫理学の問題点と「日本倫理思想史」

二 日本儒教の特徴

高島元洋

- (一) 日本儒教をどのような問題設定において理解するか。
- (二) 問題設定の妥当性と検討すべき課題。

(三) 古学の「人倫」は〈倫理学・倫理思想的観点〉からどのように理解されるのか。

三 日本朱子学論

高島元洋

- (一) 日本儒教の多様性
- (二) 近世日本朱子学の一素描
- (三) 日本朱子学の特徴——「敬」の意味をめぐって

※崎門道統略図

四 稲葉黙斎論

大久保紀子

はじめに

(一) 「狂」の資質

(二) 黙斎の位置

(三) 黙斎の儒学の特徴

(四) 上総における黙斎

おわりに